




令和 3 年 度

事業報告書

社会福祉法人洛南福社会

総施設長	施設長	施設長
		

令和3年度 事業報告

社会福祉法人洛南福祉会
管理職

法人理念を念頭に、これまでにないイベントを企画・運営することで、当法人のご利用者から高い評価を受ける事ができた。また、新型コロナウイルスをはじめ、様々な感染症が流行した影響により、稼働率の低下を招いたが、意識を高く持てるようになり、結果的に危機管理能力が高くなったと評価している。

【重点目標】

1. 人材確保、育成

- ・職員が先進的な仕事ができるように、「そもそも・もともとの目的」を意識することができるようになってきた。
- ・人材確保については、新たな募集方法（ミイダス・奨学金・他府県の専門学校への求人）を試みたが結果に結びつくことが出来なかった。
- ・介護 PJT については、新たな知識の現場への浸透が難しいため、指導者でできる職員の育成を計画したが、実際に現場で成果を感じることは少なかった。

2. ご利用者の生活の質の向上

- ・利用者の嗜好やバックグラウンドについて、意識して情報収集しており、希望された食事の提供などを始める事ができた。
- ・また、トロミ食の改善に取り組むことができ、少しずつ食べやすくなった。それに伴い、職員の食事への意識の向上が見えた。
- ・しかしながら、期待以上に「絆」を活用することが出来なかった。
- ・新規事業に関連して、計画通りに認知症実践者研修を2名が受講した。
- ・感染予防を意識してイベントを企画し、昨年よりもイベントの種類が増えた。
- ・情報収集について、各部署での指導があったが全体の底上げに至らなかった。

3. 地域の安心安全の拠点となる活動

- ・稼働については、100%に近い数字を目指していたが、達成することが出来なかった。しかしながら、昨年度よりも営業活動及び周知活動は増加している。

- ・新型コロナウイルスへの対策については、法人全体で様々な対策を講じる事ができ、クラスターを出すことなく運営できた。
- ・他法人が新型コロナウイルスのクラスターにより事業所を閉鎖したため、その利用できなくなったご利用者を受け入れることができた。

4. 経営の安定

- ・稼働について、予算を達成したのは3事業で、経費についても目に見えて削減されたものはないものの、新型コロナウイルスの影響がある中でも、昨年度より稼働を回復することができた。
- ・LIFEをはじめとする介護報酬改定については、概ね理解できているが運営基準の改正部分について、次年度に向けての課題がある。
- ・認知症対応型通所介護（ランランルンルスマイルケア）については、予定通り、開設することが出来た。

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム ヴィラ向島

利用者と共にできる人気イベントに力を入れることで、生き生きとした姿と笑顔を見ることが出来た。又、急な提案にも多職種と連携して「今できる事」を実践し喜んでもらった。

【令和3年度の取り組みについて】

1、愛あるサービスの提供

- ・ご利用者の「その人らしさ」を追及する為、生活背景を知るとなっていたが、知る為の方法が定まらず、満足のいく物にならなかった。
- ・人気のある行事(おやつ行事、運動会)は回数を増やし実践する事ができた。
- ・サービス担当者会議の家族参加率について、一定数の参加はできたが、目標である3割増には達しなかった。

2、食生活の充実

- ・利用者からの聞き取り(食べたいもの)は普段の献立や行事・個別購入などを行い実施できたが、聞き取り内容の更新が年間で1度しか出来なかった。
- ・特養全職員がトロミ食の試食を行い、トロミ材が変更になるなど、味にこだわり、食の改善が見られた。

3、感染対策

- ・職員体制により特養ミーティングの実施が出来なかった。情報の共有・周知の場として方法を検討する必要性がある。
- ・感染症に関しては、職員の罹患を多数認めたことからマニュアルの見直しと意識づけのために訓練を実施する必要がある。

4、稼働の安定

退所後10日以内の入所ができなかった。

年間通して退所者が多く新規利用者確保に時間を要してしまった。

ショートステイと連携し空床利用する事で前年度と同程度の稼働は維持した。

【稼働率について】

令和2年度

平均稼働率 92.3 %

年間入所者 入所 24名 退所 16名

令和3年度

平均稼働率 92.43 %

入所 19名 退所 18名

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島 ショートステイ

ご利用者の在宅での生活を出来る限り再現する為、生活空間の写真を撮り、現場に反映する事ができた。職員と共有する事で在宅での生活に近づけるようにした。また、ご家族と施設での様子を密に共有する事で積極的に自宅での過ごし方の情報をいただいた。

【令和3年度の取り組みについて】

1. 稼働率の安定

・上半期はケアマネジャーに対し、特養の空床活用方法を提案した事により、下半期に入る前には空き状況の問い合わせ件数も増加し、急遽のご利用者も含まれるが、柔軟に利用していただけるご利用者の獲得が行えた。

2. サービスの質の向上

・ご利用者やご家族から普段の生活の様子や自宅の環境に関する情報を集めた。ショートステイでご利用者が安全・快適に過ごせるよう生活空間や身体の状態など、写真や動画を活用し環境の整備を行った。

3. 行事の充実

・季節感が感じられる行事(餅つきや焼き芋)を行う事で、ご利用者の興味を引き出した。また、実際に体験していただく事で本来出来る能力に気付く事が出来た。

・行事の様子をご家族に写真を使用し、見ていただく事はできたが、ご家族の反応は薄く、ご利用者の良い表情や想いを伝えきれなかった。

4. 食事の多様性

・面前調理を行う事で普段はソフト食を召し上がっておられるご利用者が「私もそれ食べたい」と仰り、より普通食に近い食事形態を召し上がっていただく事が出来た。

・季節ごとに応じた食事やおやつ(カニ鍋やクリスマスケーキ)を提供する事により、ご利用者からも「また食べたい」との意見が多く聞かれ、喜んでいただけた。

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島デイサービスセンター

【令和3年度 事業報告】

ご利用者の「今できる事、昔やっていたこと」を五感（視覚、聴覚、味覚、触覚、嗅覚）に訴えるサービスを方針として食事イベントを中心に取り組むことができた。イベントを企画実施する上で、職員それぞれが持つイメージやアイデアを実現化することにつなげることができ「利用者の満足」が「職員の満足」に至った。

【重点目標】

1. 人材確保及び人材育成

介護福祉士の合格者を1名輩出することができた。離職者を出すことなく、また新規事業への希望者も輩出することができた。実習生の受け入れから学生アルバイト2名を確保している為、将来的な人材確保にもつなげたい。

2. ご利用者の満足度の向上

振替利用や臨時利用、加齢や疾患による心身状態の変化に応じ慣れ親しんだ事業所を継続的に利用できるように受け入れが行えた。また、イベント・プログラムでは園芸作業や調理工程から参加する食事イベントを通じて所持機能（五感）に訴える内容を実施できた。新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで、イベント・行事を縮小することなく実施できた。特に食事イベントに関してはご利用者の満足度も高く実施、安全にサービス提供できた。

3. 事業の安定化

新型コロナ感染者の影響もあり、濃厚接触者の利用制限での受け入れ縮小や全営業日数中、2日間営業中止となった。地域の社会資源として軽度、中度、重度要介護者の幅広い受け入れができておりご利用者の状況に合わせたサービスが実施できた。令和3年度より「科学的介護推進体制加算」を取得している。

【稼働率について】

令和2年度	営業日数	312日	令和3年度	312日
	総利用合計数	9614人	〃	9412人
	平均稼働率	88.04%	〃	86.19%
	平均人数(1日当り)	30.81人	〃	30.17人

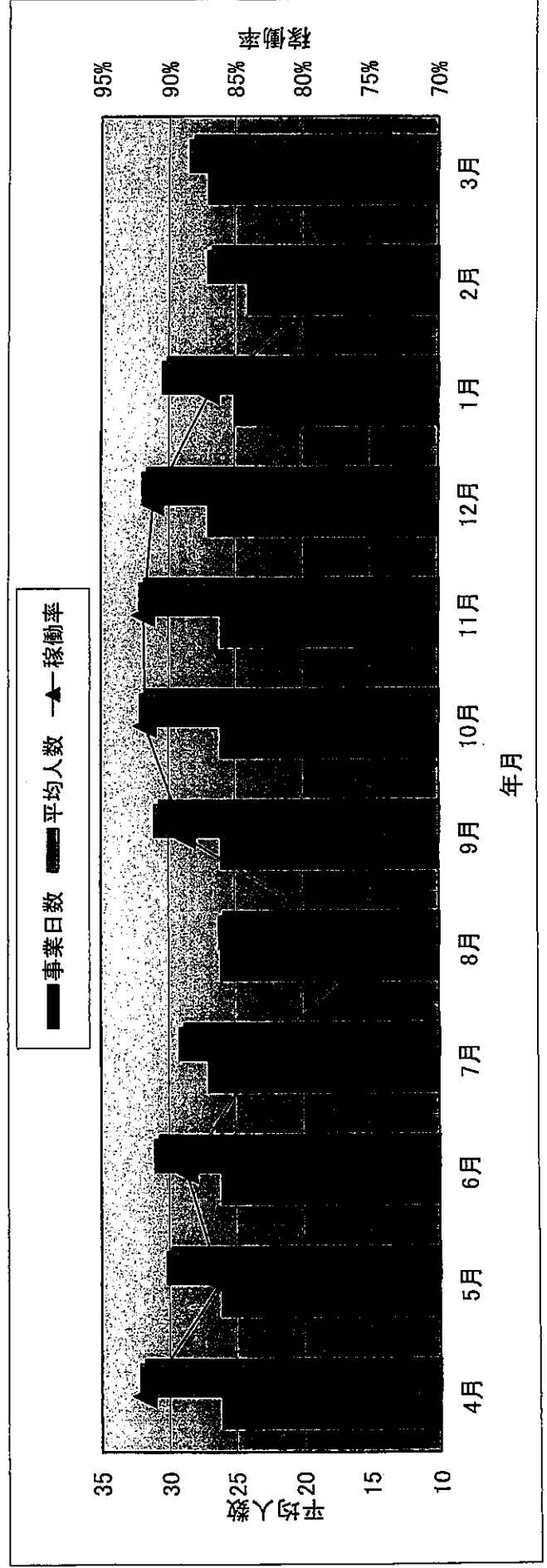
※令和3年8月と令和4年2月に営業中止が1日ずつあり。濃厚接触者及び濃厚接触疑いの方に利用制限があり利用数、稼働率に影響した。

令和3年度サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	25	24	27	312	26.00
平均人数	32.15	30.15	31.04	29.15	26.15	31.08	32.12	32.15	31.93	30.44	27.04	28.41		30.17
稼働率	91.87%	86.15%	88.68%	83.28%	74.73%	88.79%	91.76%	91.87%	91.22%	86.97%	77.26%	81.16%		86.19%
合計人数	836	784	807	787	680	808	835	836	862	761	649	767	9412	784.33
令和3年度 合計人数差	61	26	48	-34	-148	-39	-42	27	17	7	-56	-69	-202	-17

令和2年度サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	25	24	27	312	26.00
平均人数	29.81	29.15	29.19	30.41	31.85	32.58	32.48	32.36	31.30	30.16	29.38	30.96		30.81
稼働率	85.16%	83.30%	83.41%	86.88%	90.99%	93.08%	92.80%	92.46%	89.42%	86.17%	83.93%	88.47%		88.04%
合計人数	775	758	759	821	828	847	877	809	845	754	705	836	9614	801.17
令和2年度 合計人数差	-32	-26	-19	-34	-4	49	-3	0	30	-40	-89	47	-121	-10



令和3年度事業報告書

社会福祉法人洛南福祉会
ヴィラ向島居宅介護支援事業所

本年度は異動1名退職1名があり、令和4年1月から特定事業所加算の算定ができなくなった。稼働については、職員の速やかな補充が叶わなかったため、外部への移管も多く新規獲得もできない時期があったため、安定しなかったが移管や担当交替は苦情等なく適切に行えた。2人体制になってからの下半期5ヶ月では平均稼働66.7件と70件の目標達成には及ばなかった。令和4年2月は施設入所、入院が重なり、62件まで稼働が落ちていたが、居宅・予防支援会議で情報を共有し連携する事で2月と3月で6件の新規依頼を獲得し、次年度に向けた稼働の向上が図れた。

【稼働状況】

	令和3年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護支援	126	123	120	119	95	93	87	67	68	65	64	64	1091
(内訳)	要介護1(件)	36	34	33	33	26	22	20	16	17	18	18	19
	要介護2(件)	53	53	51	50	38	38	35	31	32	30	29	29
	要介護3(件)	24	23	25	25	19	20	19	13	12	11	10	8
	要介護4(件)	11	11	9	9	10	10	10	6	7	6	7	7
	要介護5(件)	2	2	2	2	2	3	3	1	0	0	0	1
介護予防支援委託 (0.5人計算)	10	10.5	10.5	10.5	2.5	2.5	2.5	1	1	1	1	1.5	54.5
総件数	136.0	133.5	130.5	129.5	97.5	95.5	89.5	68.0	69.0	66.0	65.0	65.5	1145.5
介護支援専門員数	4	4	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	
1名当たりの担当件数	34.0	33.4	32.6	32.4	32.5	31.8	29.8	22.7	23.0	33.0	32.5	32.8	
入院時情報提供加算	8	1	8	6	5	4	5	3	5	2	0	3	50
初回加算	15	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	2	22
特定事業所加算Ⅲ	126	123	120	119	95	93	87	67	68	0	0	0	898

【認定調査依頼実施状況】

	令和3年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単月合計	13	0	5	10	5	3	3	4	1	0	0	0	44

	令和2年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総件数	140.5	142.0	141.5	141.5	140.0	142.5	143.5	142.5	142.5	144.0	141.0	143.0	1704.5
居宅介護支援	131	132	132	132	131	134	135	134	134	129	124	126	1574
介護予防支援委託 (0.5人計算)	9.5	10	9.5	9.5	9	8.5	8.5	8.5	8.5	15	17	17	130.5
介護支援専門員数	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4.5	
1名当たりの担当件数	35.1	35.5	35.4	35.4	35.0	35.6	28.7	28.5	28.5	28.8	28.2	31.8	

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
ヘルパーステーション ヴィラ向島
ヘルパーステーション ヴィラ観月橋

【令和3年度 事業報告】

次世代の人材を確保するためにSNSを活用しヘルパーの魅力発信を行うことを目的としていたが、定期的にSNSの投稿をすることが出来ず、結果、魅力発信、人材確保をすることができなかつた。観月橋に関しては、7月より他部署への異動もあり、職員が減ったことからご利用者を減らす結果になり、稼働が減少することになった。

【取り組みについて】

① 人材の確保、育成

- ・新たな人材の確保には至らなかつたが、現在働いておられるパート職員が時間数や日数を増やしてくれるようになった。
- ・コロナ禍のため、実習生の受け入れはなかつたが、昨年同様、養成校から訪問介護に関する授業の依頼があり、訪問介護の魅力を伝える機会を設けることができた。結果としては人材確保に至っていないが、学生より「将来的にはヘルパーも考えていきたい」という声をもらうことができた。

② 職員の資質向上

- ・コロナ禍の為、各自事業所での会議実施となり法令研修のほかに個別検討を中心とした内容を行い、より深くご利用者の状況や援助内容を共有することができた。新型コロナウイルスに関しては随時情報共有を行い、正しい知識を持ち感染防止策を行うことで、感染者がでることはなかつた。介護PJTのメンバーより介護技術を教わることで新たな技術を身に付けることができた。

③ 安定した事業運営

- ・観月橋に関しては、異動や退職もあり積極的な新規獲得が出来なかつたが増回や援助内容の変更を提案することで、稼働の減少を最低限に抑えることができた。
- ・訪問件数を効率よく回すために、移動時間をなるべく短時間になるように訪問スケジュールを組むことでヘルパーの負担軽減と稼働の安定に繋がった。

【令和2年度実績】

利用者件数 向島：4,034件
観月橋：3,201件
金額 向島：20,806,522円
観月橋：16,511,057円

【令和3年度実績】

利用者件数 向島：4,272件
観月橋：2,901件
金額 向島：20,357,176円
観月橋：15,172,892円

令和3年度 ヘルパーステーション勉強会 実績

年	月	勉強会	担当
令和3年	5月	人権・プライバシー・個人情報	仲田・田中
	6月	褥瘡	仲田・田中
	7月	介護技術・床からベッド 車椅子への介助	川端主任
	8月	認知症	向島
	10月	拘束（1回目）・虐待	田中・山本
	11月	事故（1回目）	仲田・田中
	12月	拘束・事故（2回目）	山本・田中
令和4年	2月	拘束・事故予防の事例	観月橋

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 洛南福祉会
ケアハウス サウスヴィレッジ向島

【令和3年度 方針】

洛南福祉会の「共に生き、笑顔で支えあう暮らしづくり」という法人理念に基づき、年間を通して基本方針に沿った活動ができた。

『入居者自身ができることを見つけ実行できる環境づくり』に関しては、入居者自身ができること、やりたいことを実施されることで居心地のよい生活の場を作り上げることができた。

【令和3年度の取り組みについて】

1. 入居者の「自主活動」を促す取り組み

これまでも廊下の掃除や館内の換気を入居者自身がされていたが、今年度はこれまでされていなかった入居者が庭木の手入れや水やりに参加されることがみられるようになった。また、入居者の趣味を披露（クリスマス会での職員とのクラリネット演奏）することもできた。

2. 入居者確保の為の広報活動の実施

コロナ禍のなかで、直接居宅や包括に出向くことはできなかった。しかし、昨年に比べポストイングの回数を2か月に1度に増やし、範囲を広げ（久御山町）広報活動をおこなった。結果、自立度の高い入居者を確保することに繋がった。また、SNSにイベントの様子だけではなく日常の様子も投稿することでケアハウスの現状を発信することができた。

3. 感染予防の取り組み

マスクを装着することが定着してきたが、入居者同士で忘れる入居者への声掛けが出来ている。また、入居者自らが廊下や食堂の窓を開け換気され、感染予防の取り組みをおこなうことで、感染者がでることはなかった。

4. 災害等に対する取り組み

避難訓練を2回実施し、その中で入居者同士が安否確認をすることで迅速に避難することが定着してきている。災害マニュアルの整備に関しては今年度は実施することが出来なかった。

5. 職員研修

法令研修の実施、認知症研修への参加は出来たが、「自立した高齢者の生活の場」ということに囚われ過ぎることがあり、研修内容を日ごろの入居者への対応に活かすことはできなかった。

【稼働率について】

令和3年度

平均稼働率 99.83%
平均稼働床 49.91床

令和2年度

平均稼働率 99.5%
平均稼働床 49.75床

6. 入居者状況について(令和4年3月末調べ)

①年齢別・性別

在籍者50名のうち、男性18名(36%)、女性32名(64%)、男性が増加している。全体の平均年齢は81.7歳である。90歳以上が今年は8名と16%を占めている。入居・待機者共に高齢の方が高い傾向である。

年齢	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～100	計	平均(歳)
男	1	3	5	5	3	3	0	18	80.0
女	1	4	5	9	6	4	1	32	75.5
計	2	7	10	14	9	7	1	50	81.7

②今年度の入退去状況(表2)

入居は8名、退去は9名。入居の内、自立の入居者が3名、要支援1・2の介護度の低い入居者が3名、要介護の入居者が2名という内訳だった。紹介会社からの入居は0名だった。今年度は自立度の高い入居者が確保できたと言える。退去者に関しては、入院後ADLの低下によりケアハウス復帰が困難になり退所されるケース、認知症によりケアハウスでの生活が困難になり老健や有料老人ホーム、特養に入所されるケースが主だった。新規入居者については、自立の方もおられるが、要支援でも入居前から介護保険サービスを利用される方が増えているのが現状である。

表2 入退去の状況

	入居	退去	退去内訳			
			死亡	在宅復帰	他施設入所	その他
H30年度	14	14	2	2	10	0
令和元年度	7	7	1	20	6	0
令和2年度	13	12	2	1	9	0
令和3年度	8	9	2	0	7	0

③介護度別状況(表3)

50名の内、自立が15名で全体の30%、約7割の入居者が要介護認定を受けており、介護保険のサービスを利用している。要支援の方の半日通所リハビ

リを利用されているケースも増えてきている。要介護1や2でも週5日サービスを利用している入居者もあり、ケアハウスで生活をするためや自身の身体機能を維持するためにサービスを必要としている現状と重度化が明らかである。

表3

介護度	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	15	6	10	11	5	3	0	0

7. 年間行事報告

開催日時	行事内容	食事の内容	開催場所	参加人数
4月30日	喫茶	手作りプリン	ケアハウス食堂	19名
5月19日	喫茶	チーズケーキ	ケアハウス食堂	24名
6月21日	喫茶	ティラミス	ケアハウス食堂	26名
7月29日	喫茶	シフォンケーキ	ケアハウス食堂	25名
8月1日	納涼祭 花火大会	お弁当	デイフロアー	ゲーム 28名 駄菓子 30名 夕食会 42名
9月19日	敬老祝賀会	松花堂弁当	ケアハウス食堂	祝賀会 44名 昼食会 45名 茶話会 33名
10月 15日 19日 29日	外食ツアー	イタリアン ステーキ	アグリ カサ・トレント	13名
11月7日	ステーキフェア	ステーキ	ケアハウス食堂	42名
12月24日	クリスマス会	ケーキ	ケアハウス食堂	31名
12月30日	餅つき大会	きなこ餅	施設中庭	29名
1月1日	元旦	おとそ	ケアハウス食堂	名
1月6日	新年会	一人鍋	ケアハウス食堂	36名
2月4日 11日 12日 15日	お茶会	マフィン 紅茶	4階娯楽集会室	17名
3月 6日	寿司パーティー	にぎり寿司	ケアハウス食堂	38名

3月14日 18日	プレートづくり	コーヒー	4階娯楽集会室	5名
--------------	---------	------	---------	----

定期行事

毎月：買い物ツアー
カラオケ/コーヒーの日
年4回：季節の食事

サークル活動

新型コロナウイルスの感染予防対策の為
ボランティアの受入れを中止。
サークル活動は休止。

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福社会
元源深草

法人理念を意識し、入浴特化の特性を活かし心地よくつろぎの空間を提供することができた。

ケアプランセンターあかつきと協働し、地域住民・関係機関と連携し、ご利用者・ご家族、地域のニーズに合わせた対応ができた。

【重点目標】

1. ご利用者にとっての楽しみを追求する

- ・入浴特化の通所介護として、今年度は果物の香りを中心に毎月3回かわり湯を実施することができた。ご利用者からも「他のデイサービスにはない、香りがいい」「かわり湯が楽しみ」との声を多数いただいた。
- ・ご利用者の声から、今年度新たな企画として「ご当地スイーツ」「ちょこっとお菓子週間～ほっと一息～」のイベントを毎月実施することができた。「次は何が食べれるかなあ」「休まず来るわ」とご利用者の楽しみが広がった。
- ・入浴以外の時間は、体操・脳トレ・塗り絵・手芸・季節製作などご利用者の趣味活動が実践できた。
- ・新型コロナウイルス感染による休業があったが、感染拡大することなく事業の継続ができた。

2. 地域連携の維持・拡大

- ・関係機関として、地域包括支援センター7事業所、居宅介護支援事業所39事業所と連携することができた。コロナ禍でも運営推進会議の書面開催や近隣事業所の会議などを通して地域や関係機関と情報共有することができた。
- ・同建物内のケアプランセンターあかつきと合同で研修を実施することができた。

3. 稼働率90%以上を目標に、新規ご利用者獲得を目指す

令和4年3月末時点での登録数は次の通り。

- ・登録数 92件 ・年間新規登録者数 40件
- ・法人内居宅介護支援事業所 12件
- ・法人外居宅介護支援事業所 61件 ・地域包括支援センター19件

入院者も年間を通して月平均6.9名とご利用者の入れかわりも多く、定員枠上限まで登録を維持していくことが今後の課題である。

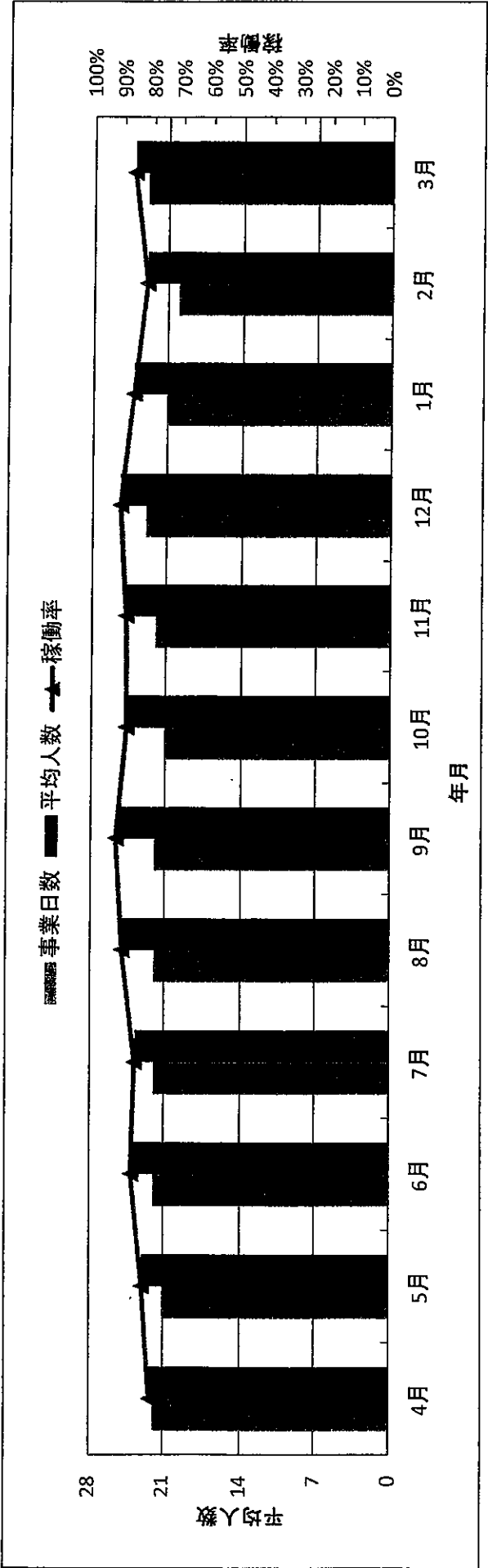
【稼働率について】	令和3年度	令和2年度
平均稼働率	86.31%	79.41%

令和3年度 元源深草 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	22	21	22	22	22	22	21	22	23	21	20	23	261	21.75
平均人数	22.32	23.05	24.09	23.77	25.00	25.59	24.67	24.77	25.35	24.19	23.00	24.22		24.18
稼働率	79.71%	82.31%	86.04%	84.90%	89.29%	91.40%	88.10%	88.40%	90.53%	86.39%	82.14%	86.49%		86.31%
合計人数	491	484	530	523	550	563	518	545	583	508	460	557	6312	526.00
2年度 合計人数 差	1	35	46	23	88	90	44	62	45	45	14	39	上半期 85.61%	下半期 87.00%

令和2年度 元源深草 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	22	21	22	23	21	22	22	21	23	20	20	23	260	21.67
平均人数	22.27	21.38	22.00	21.74	22.00	21.50	21.55	23.00	23.39	23.15	22.30	22.52		22.23
稼働率	79.55%	76.36%	78.57%	77.64%	78.57%	76.79%	76.95%	82.14%	83.54%	82.68%	79.64%	80.43%		79.41%
合計人数	490	449	484	500	462	473	474	483	538	463	446	518	5780	481.67



令和3年度事業報告

社会福祉法人洛南福祉会
ケアプランセンターあかつき

本年度は事業所の体制を整え11月から特定事業所加算Ⅲを算定する事ができた。退職者1名が出た事で新規依頼に対応できない時期があった。また異動の職員との引き継ぎ期間が短く、外部へ移管せざるを得ない状況であったため稼働低下みられた。居宅・予防支援会議内で課題を共有し連携する事により11月からは新規を獲得する事が出来、稼働数を目標値まで回復させる事が出来た。地域の主任介護支援専門員連絡会のメンバーとして研修の企画や事例検討に参加し、地域の運営推進会議にも参加し交流した。外部研修にも積極的に参加し質の向上のため研鑽を行った。同一敷地内の元源深草とも法令研修を一体化して行う等して日常的に連携が図れた。

【稼働状況】

	令和3年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護支援	86	88	89	83	85	82	85	94	96	97	95	99	1079
(内訳)	要介護1(件)	27	27	28	26	30	27	25	26	27	29	27	29
	要介護2(件)	30	32	32	28	31	33	35	40	40	40	40	42
	要介護3(件)	17	17	17	15	15	13	15	17	18	18	17	16
	要介護4(件)	8	8	9	8	7	7	8	9	9	8	9	10
	要介護5(件)	4	4	3	6	2	2	2	2	2	2	2	2
介護予防支援委託 (0.5人計算)	6.5	6	6.5	6.5	9	9	9	10	10	10.5	10	10.5	103.5
総件数	92.5	94.0	95.5	89.5	94.0	91.0	94.0	104.0	106.0	107.5	105.0	109.5	1182.5
介護支援専門員数	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	
1名当たりの担当件数	30.8	31.3	31.8	29.8	23.5	30.3	31.3	34.7	35.3	35.8	35.0	36.5	
入院時情報提供加算	1	0	1	0	2	1	2	3	2	1	1	0	14
初回加算	13	2	0	0	13	0	4	10	0	1	1	1	45
特定事業所加算Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	94	96	97	95	99	481

【認定調査依頼実施状況】

	令和3年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単月合計	3	4	3	8	1	4	7	2	4	7	5	10	44

	令和2年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総件数	118.5	112.5	114.5	118.5	122.5	120.0	106.0	104.0	100.0	102.0	100.0	97.0	1315.5
居宅介護支援	111	105	108	110	114	112	98	96	92	94	92	89	1221
介護予防支援委託 (0.5人計算)	7.5	7.5	6.5	8.5	8.5	8	8	8	8	8	8	8	94.5
介護支援専門員数	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	
1名当たりの担当件数	29.6	28.1	28.6	29.6	30.6	30.0	35.3	34.7	33.3	34.0	33.3	32.3	

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人洛南福祉会
京都市向島地域包括支援センター

本年度は、昨年につきコロナ禍での見守り活動や居場所作り活動となったが、感染対策を講じながら積極的に参加し、地域住民との“顔の見える関係作り”を行った。コロナ禍のため、外出を控えたり、生活に不安を感じる相談者が増え、総合相談件数はコロナ以前より1.6倍、介護予防支援については昨年度より180件増加した。経験年数が浅い職員が多い中、センター内の職員同士が意見を出し合い、様々な相談や活動にセンター全体で取り組んだ。年度始めから「居宅・予防支援会議」を実施し、お互いの運営状況を把握することで、増加する新規相談を滞りなく対応できた。

【稼働状況】

		令和3年度												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護予防支援		250	266	255	260	265	273	278	269	269	267	265	280	3197
総合事業		101	96	97	97	101	102	108	107	109	106	104	109	1237
総件数		351	362	352	357	366	375	386	376	378	373	369	389	4434
(内訳)	委託	82	86	86	88	80	78	93	92	97	101	96	89	1068
	初回	10	8	6	8	12	16	4	14	9	12	10	11	120
	委託連携	3	1	2	1	4	1	2	6	1	1	3	4	29

		令和2年度												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護予防支援		230	228	242	250	251	254	250	243	239	240	245	251	2923
総合事業		118	112	115	116	111	115	113	114	111	104	104	100	1333
総件数		348	340	357	366	362	369	363	357	350	344	344	351	4256

【新規相談状況】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合相談実人数		69	57	69	71	52	55	68	58	59	60	56	63	737
新規介護認定申請		22	25	27	25	26	18	16	28	32	27	31	21	298
代行申請()表記		(12)	(17)	(18)	(19)	(16)	(10)	(11)	(21)	(18)	(15)	(17)	(20)	(184)
(内訳)	要支援	13	15	20	18	21	14	9	19	24	18	19	17	207
	要介護	7	10	6	6	5	4	7	9	7	8	12	4	85
	非該当	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	6

【地域ケア会議】

学区	向島	向島南	二ノ丸	二ノ丸北	藤ノ木	合計(回)
地域ケア会議(個別)	0	1	0	0	0	1
地域ケア会議(学区)	3	3	3	3	3	15
日常生活圏域	秀蓮中学校圏域1回		向島東中学校圏域1回		※書面開催	2

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム レーベン横大路

法人理念を具現化するために、ご入居者の個性を尊重し、その方の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで安心できる生活環境を作り、その人らしい生活が送れるように関わりを持つことを意識し、支援を行った。

【取組内容】

1. 稼働率の安定化

- ・年間平均稼働率は91.2%と目標の96%に届かなかった。
- ・退居から入居までの空床期間が平均11.7日と前年度に比べ3日短くすることができた。
- ・今年度、新設された加算について、早期に理解し、科学的介護推進加算、褥瘡マネジメント加算を算定開始することができた。

2. サービスの質の向上

- ・ご家族アンケートを実施し、面会に制限がかかる状況でご家族ごとに知りたい内容を情報収集し、介護職員から近況報告の手紙を書く取り組みを開始することができた。
- ・新人職員が多く、ケアの統一ができるように、ユニット会議の内容を各ユニットで工夫し、病気の理解や介護技術の向上に繋げた。
- ・行事に関しては感染症対策を行いつつ、ユニットやフロア単位での取り組みを行い、オンラインを使用した花火鑑賞や運動会を行うことができた。

3. 人材の確保、育成、定着

- ・実習受け入れを3校行い、養成校と協力して新型コロナ感染対策を行いつつ、延べ19名の実習生を受け入れた。
- ・新人指導マニュアルを活用しながら、指導の進捗状況を確認しながら習得度を新人職員・指導者間で共有することができた。
- ・内部研修や外部研修でオンラインを活用しつつ、受講を進めることができた。

4. 地域との連携

- ・児童館との交流は継続できたが、直接ご入居者が対面する機会をもつことができなかった。カレンダーだけではなく、季節に合わせたプレゼントを贈ることができた。
- ・新型コロナ感染症予防のため、対面での運営推進会議は開催できなかったが、書面にて意見交換を行うことができた。

【稼働率について】	令和3年度	令和2年度
月平均稼働率	91.20%	92.50%

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路ショートステイ

法人理念を具現化するために、ご利用者の個性を尊重し、その方の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで、暮らしの場所が変わっても安心して生活できる環境を作り、在宅生活を継続できる関わりを意識した。

1. 稼働率の安定化

- ・年間平均稼働率は95.02%と目標の94%を達成することができた。
- ・新規受け入れ人数46名と昨年度と比較して2倍となり、定期利用者を獲得するができた。
- ・特養の空床を利用して、追加利用の提案、緊急利用の受け入れを行うことで稼働を伸ばすことができた。

2. サービスの質の向上

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、事前連絡での体調確認を強化し、感染予防に努めることができた。
- ・職員の「ご家族に利用中の様子を更に知ってほしい」という思いから写真やキーホルダー等レクリエーションで作った物を持ち帰っていただくようにした。ご家族からも以前より利用中の状況がわかりやすいと好評であった。
- ・ご家族の知りたい情報を申し送りに反映させるため、ご家族アンケートを実施した。利用中の食事メニュー表を渡すことで、食生活についての情報共有ができるようになった。
- ・特養の空床利用の機会も増え、どのユニットでショートステイの受け入れをしても統一したケアを提供する仕組み作りをしていきたい。

3. 人材確保・育成・定着

- ・法人内部の介護ランクの活用ができず、受験者を出すことができなかった。
- ・新人職員指導マニュアルを使用することで、指導できている事とできていない事を可視化することができている。
- ・内部研修や外部研修でオンラインを活用しつつ、受講を進めることができた。

【稼働率について】	令和3年度	令和2年度
月平均稼働率	95.02%	89.36%

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会

レーベン横大路 デイサービスセンター

ご利用者の「声」を大切に「レーベン横大路に行きたい、利用が楽しみ」と思っていただけの取り組みを検討・実施した。

【重点目標】

1. ご利用者の「声」を大切に

- ・コロナ禍でもイベントや行事の出し物を職員が実施することで、ご利用者の好評で職員の達成感も大きかった。人気のカラオケを毎日実施やリクエスト食等ご利用者のニーズを献立表に活かし年間通して対応することができた。
- ・個々のニーズにあわせた対応ができるよう、日々のミーティングや毎週1回全ご利用者のカンファレンスを実施することができた。検討した内容を実践し振り返ることを意識し取り組むことで『ご利用者理解』を深め、対応することができた。

2. 地域連携の維持・拡大

- ・通所4センターでパンフレットを作成し、各事業所の特色や営業地域を共有し、新たなツールを活用して事業所のアピールをすることができた。
- ・伏見区事業者連絡会フォトコンテストへの参加やレーベン横大路作品展を実施し活動を振り返ることができた。横大路こども園との企画も元源と共同で遊べる折り紙駒を製作。ご利用者の代表が園に伺いコロナ禍でも七夕企画の交流をすることができた。

3. 定員枠上限までを目標に利用者獲得と運営の安定

令和4年3月末時点の登録数は次の通り。

【稼働率について】	令和3年度	令和2年度
年間平均稼働率	88.96%	85.99%

登録数 73 件(内新規件) 平均要介護度：要介護 2 (昨年度要介護度 1.8)

法人内居宅介護支援事業所 18 件・法人外居宅介護支援事業所 39 件

包括支援センター4 事業所 16 件

今年度新設された科学的介護推進体制加算も、年間通して評価、対応することができた。

4. 人材定着及び人材確保

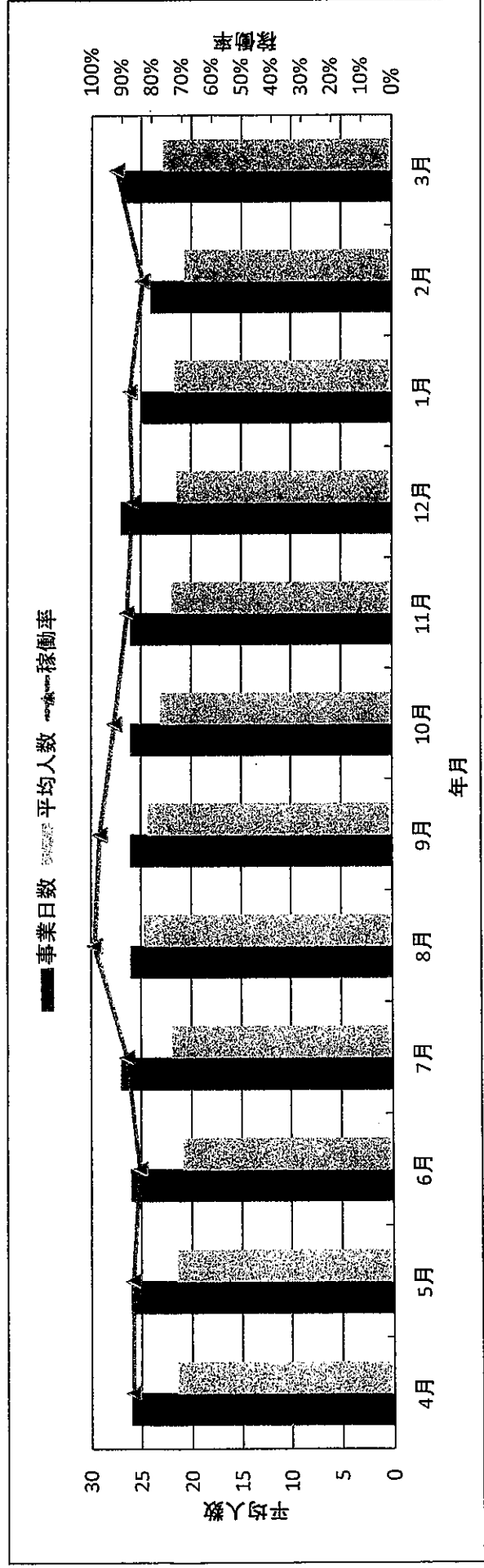
- ・退職・入職と体制が落ち着かない1年であった。職員間で話す機会を持ち、思いのすり合わせと基本を振り返り共有することに努めた。
- ・日々感染予防の対応を継続し、事業所から感染者を出すことなく対応することができた。

令和3年度 レーベン横大路デイサービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	25	24	27	312	26.00
平均人数	21.50	21.5	20.90	22.00	24.70	24.30	23.10	22.00	21.50	21.76	20.71	22.89		22.25
稼働率	86.00%	86.00%	83.70%	88.00%	98.90%	97.10%	92.30%	88.00%	86.10%	87.04%	82.83%	91.56%		88.96%
合計人数	559	559	544	594	643	631	600	572	581	544	497	618	6942	578.50
R2年度 合計人数 差	0	13	13	17	66	53	12	23	-12	9	-4	44		

令和2年度 レーベン横大路デイサービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	25	24	27	312	26.00
平均人数	21.50	21.00	20.42	21.40	22.20	22.20	21.80	20.00	22.00	21.4	20.88	21.26		21.50
稼働率	86.00%	84.00%	81.69%	85.50%	88.80%	88.90%	87.10%	87.84%	87.90%	85.60%	83.50%	85.04%		85.99%
合計人数	559	546	531	577	577	578	588	549	593	535	501	574	6708	559.00



4

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 洛南福祉会
元 源

ご利用者が住み慣れた地域で安心した暮らしの継続のために、各事業者と電話での情報交換を密にすることができた。気づきを丁寧に伝える事で、ご利用者・家族・職員との「結びつき」を大切にしたサービスを提供する事ができた。

【重点目標】

1：ご利用者・ご家族との「絆」「信頼関係」を大切にする

- ・昨年末のご利用者満足度調査の結果や日々の関わりの中で、「演歌・懐メロを聞く時間を作って欲しい。」との要望があり、入浴後の30分間の時間に、音楽を流すことで昔をなつかしまれたり、口ずさむ方もおられ、ご利用者の楽しみの一つとなった。

イベントは年間の日程を決め、1ヶ月の予定を掲示する事で、花楽の会・和菓子の日に参加人数も安定した。

- ・皆勤賞はあらたに利用回数をポイント化する「ポイントラリー」に変更し、利用回数を表にする事で、目標回数が可視化され分かりやすいという声も多く、今年度は4名の方が100回を達成された。

2：地域連携の維持・拡大

今年度も新型コロナウイルス感染予防に伴い、運営推進会議は書面による情報提供を行った。横大路こども園との交流は七夕の笹のお礼に、レーベン横大路デイサービスと協力し、折り紙で作った「駒」を制作する。利用者代表と共に横大路こども園に持参し、短時間での交流をすることができた。

3：事業運営の安定

令和4年3月末時点の登録数は次の通りです。登録数94名

- ・法人内居宅介護支援事業所 12件・法人外居宅介護支援事業所 23事業所より52件・包括支援センター4事業所より30件

通所4センターでパンフレット作成し、より施設を知ってもらえるように営業活動を行った。

【稼働率について】 令和3年度 令和2年度

 月平均稼働率 94.02% 87.77%

4：職員の資質向上

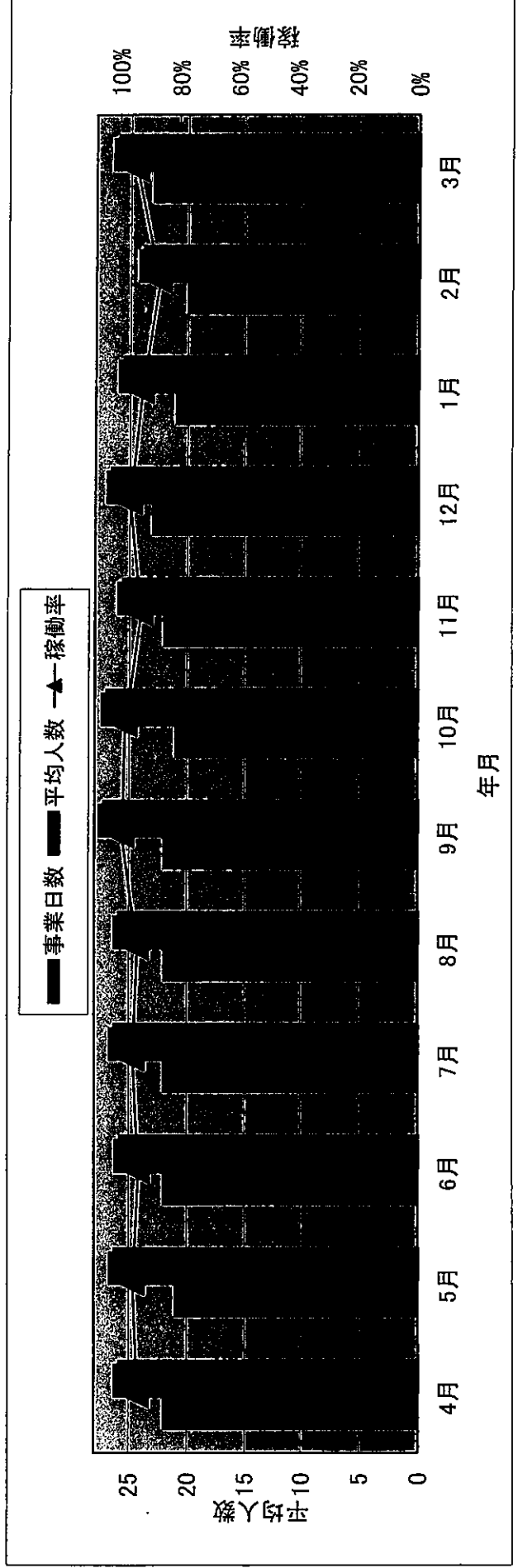
日々のミーティングは気軽に発言できる環境を作り、ご利用者の小さな気づきを共有する事ができた。スタッフミーティングの時間を使い、介護技術の振り返りにも取り組むことが出来た。職員全員が法人内介護ランク制度の基礎ランクに合格できた。今後は実際に現場で実践していけるかが課題である。

令和3年度 元源 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	22	21	22	22	22	22	21	22	23	21	20	23		21.75
平均人数	26.18	26.57	26.09	26.59	26.23	27.59	27.33	25.91	26.91	25.86	24.25	26.39		26.33
稼働率	93.51%	94.90%	93.18%	94.97%	93.67%	98.54%	97.62%	92.53%	96.12%	92.35%	86.61%	94.25%		94.02%
合計人数	576	558	574	585	577	607	574	570	619	543	485	607		572.92
R2年度 合計人数 差	76	74	64	29	47	29	19	51	72	43	-33	17		40.67

令和2年度 元源 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日数	22	21	22	23	21	22	22	21	23	20	20	23		21.67
平均人数	22.73	23.05	23.18	24.17	25.24	26.27	25.23	24.71	23.78	25	25.90	25.65		24.58
稼働率	81.17%	82.31%	82.79%	86.34%	90.14%	93.83%	90.10%	88.27%	84.94%	89.29%	92.50%	91.61%		87.77%
合計人数	500	484	510	556	530	578	555	519	547	500	518	590		532.25
R1年度 合計人数 差	-26	-105	-12	-25	-19	33	-33	2	-27	-77	-9	35		-21.92



22

令和3年度事業報告書

社会福祉法人洛南福祉会
レーベン横大路居宅介護支援事業所

本年度もコロナ禍は継続しているが、少しずつ様々な活動が再開された1年だった。緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置とともに保険者から臨時的措置が出されるなか、例年になく稼働件数を伸ばすことができた。受け入れ可能数を部署内で共有し、地域包括支援センターには空き状況を伝えた。また、新規相談の受け入れ可否は一両日中には返答し、速やかな対応を心掛けた。暫定中の相談は稼働に至らない事もあるが“相談しやすさ”を意識した。職員の資質向上についてはオンラインシステムの活用によりコロナ以前よりも外部研修に参加しやすくなった。地域住民活動は一部の開催に限っているが、関係性を維持できるように声掛けは行った。また、年度当初から法人内で『居宅・予防支援会議』を実施する事ができ、専門部署同士で課題を共有できたことは有意義であった。

【稼働状況】

	令和3年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護支援	127	124	127	130	132	129	131	67	135	129	131	130	1492
(内訳)	要介護1 (件)	30	30	33	35	33	32	33	32	29	27	29	30
	要介護2 (件)	55	50	47	50	53	51	47	48	52	54	53	54
	要介護3 (件)	26	30	32	28	29	30	36	37	36	31	31	29
	要介護4 (件)	8	7	8	9	9	8	7	9	11	10	11	9
	要介護5 (件)	8	7	7	8	8	8	8	7	7	7	7	8
介護予防支援委託 (0.5人計算)	13.5	14.0	13.5	13.0	14.0	14.0	14.5	13.0	13.0	12.5	11.5	11.5	158.0
総件数	140.5	138.0	140.5	143.0	146.0	143.0	145.5	80.0	148.0	141.5	142.5	141.5	1650.0
介護支援専門員数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
1名当たりの担当件数	35.1	34.5	35.1	35.8	36.5	35.8	36.4	20.0	37.0	35.4	35.6	35.4	
入院時情報提供加算	3	6	1	1	3	1	1	1	1	2	2	2	24
初回加算	7	5	9	4	7	0	0	5	2	2	2	2	45
特定事業所加算II	127	124	127	130	132	129	131	67	135	129	131	130	1492

【認定調査依頼実施状況】

	令和3年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単月合計	11	10	16	8	7	5	10	10	16	5	7	13	118

	令和2年度												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総件数	130.0	129.0	137.0	131.5	130.0	136.0	137.0	129.0	130.0	129.0	129.5	135.0	1583.0
居宅介護支援	118	117	124	119	118	124	124	117	118	117	117	122	1435
介護予防支援委託 (0.5人計算)	12	12	13	12.5	12	12	13	12	12	12	12.5	13	148
介護支援専門員数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
1名当たりの担当件数	32.5	32.3	34.3	32.9	32.5	34.0	34.3	32.3	32.5	32.3	32.4	33.8	